

社協だより

いずも

社会福祉法人
出雲市社会福祉協議会

IZUMO

つながる ひろがる
ささえあう

vol.

134

5月・
6月号

令和3年6月18日発行



TOPIC!

特集 想いをカタチに

誰もが安心していきいき暮らせる
まちづくりのために

- ・心配ごと、悩みごと相談の中止について
- ・災害義援金のお知らせ
- ・オンライン福祉相談を行っています!
- ・みんなの福祉掲示板を使ってみませんか?
- ・ご寄附ありがとうございます
- ・点訳奉仕員養成講座受講者募集
- ・子どもの居場所ボランティア講座

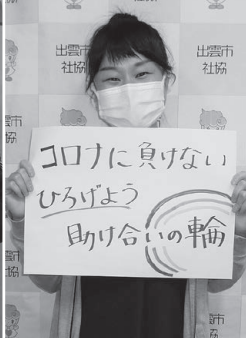
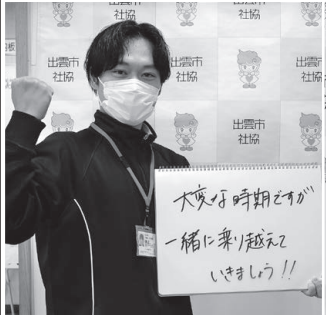
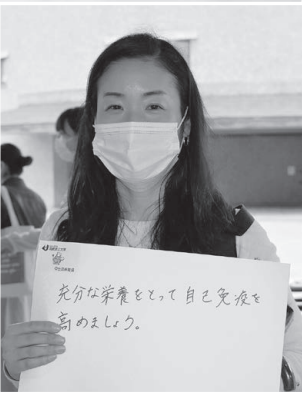
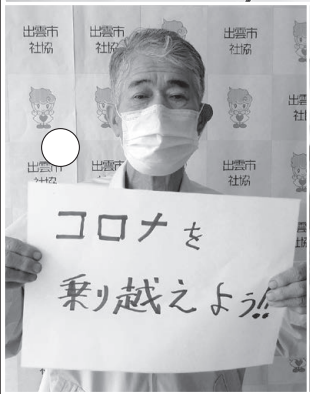
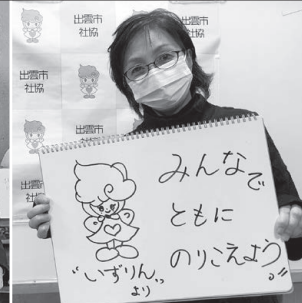
特集

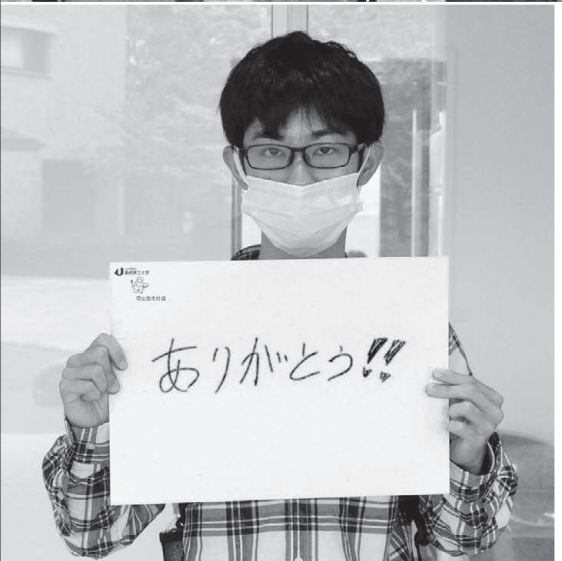
想いをカタチに

「何かしたい」気持ち

昨年からの新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、出雲市でも多くの方が生活に影響を受けました。生活にお困りの方を「食」で応援するため、出雲市社会福祉協議会（出雲市社協）では「フードドライブ」を実施。これは、地域の皆さんや企業、団体から寄せられた食品等を無料でお渡しする取組です。家庭等で食べきれない食品や使わない日用品の寄附を呼びかけたところ、寄せられた品は約6万点。800人のもとへ届けることができました。

誰もが生活のしづらさを感じ、人と人とのつながりが希薄になるなか、地域の皆さんの「何か自分にできることをしたい」気持ちは色あせません。協力者のおひとは「自分が誰かのために貢献できることがあります」と話します。





支える側になりたい!

フードドライブによる食品支援は、コロナ禍で苦しい思いをする島根県立大学（県立大学）の学生にも、食品を受け取った学生は、「人の温かさを感じました。今度は支える側になりたいです!」と想いを語ります。

恩返しにと、4月に行われた3回目のフードドライブでは、県立大学健康栄養学科と看護学科の学生4人がボランティアとして参加。寄せられた食品・日用品の袋詰め作業に、受け取る「誰か」への想いを馳せながら汗を流しました。

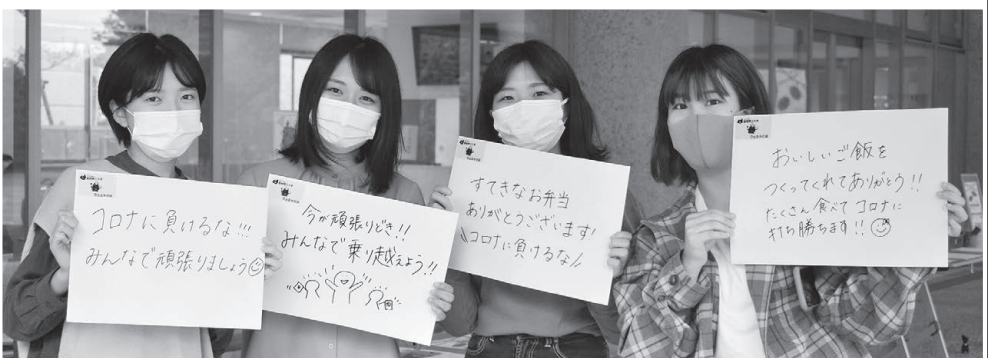
さらに、県立大学×出雲市社協の緊急コラボ企画を実施。「コロナ禍で不安な生活を送る新生生を応援したい」と県立大学健康栄養学科教授らのレシピをもとに、同学科3年生が「美肌弁当」を手作りし、新生生150人をおもてなし。お弁当には、フードドライブで集まった食材を使い、食品ロス削減も目指しています。

新生生たちは「不安な気持ちが晴れました」「感謝の気持ちでいっぱいです」「コロナに負けずがんばります」と話し、自然と笑顔がこぼれます。

私たちはひとりじゃない

「食」を通じてつながった支援の輪。「お互いに助け合って乗り越えていきましょう」「あなたはひとりじゃない、ありません」とのメッセージが力強く響きます。

コロナ禍で皆がつらい思いをするなか、「できることをしたい」「支えたい」という一人ひとりの想いが誰かを支える取組としてカタチになっています。



誰もが安心していきいき暮らせる まちづくりのために

出雲市社会福祉協議会（出雲市社協）は、出雲市で地域福祉を推進する民間の団体です。暮らしの中の困りごとを解決するために様々な取組を行い、誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指しています。

「生活のしづらさ」に寄り添う

昨年からの新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、私たちの生活に大きな影響を及ぼし、社会的な孤立や経済的な問題などがさらに広がっています。出雲市社協は、生活のしづらさを抱える方に寄り添い、支えるための取組をすすめています。

出雲市社協の事業は、「安心づくり」・「地域づくり」・「人づくり」を3本柱として取り組んでいます。ひとつ目の柱「安心づくり（個別支援）」を軸に、高齢者や障がいのある方、生活にお困りの方等の生活課題等に対応しています。

あなたが抱える困りごとや、どこに相談してよいかわからないこと、なんでも聞かせてください。

高齢者あんしん支援センター

高齢者が住み慣れた地域で
自分らしい生活を送ることができるように

要支援 1・2 の方や生活機能の低下が見られる方等、一人ひとりに合ったサービス利用や健康づくりをお手伝いします。

また、高齢者虐待、消費者被害等の早期発見や防止にも対応しています。専門職が連携し、高齢者の皆さんが自分らしい生活を送れるよう支援します。

いずも権利擁護センター

さまざまな権利侵害を受けやすい方が
地域で安心して暮らせるように

認知症や知的・精神障がい等により判断能力が不十分な方の福祉サービスの手続きや日常的な金銭管理等のお手伝いをします。

認知症や障がいのある方ができる限り自立して、地域で安心して暮らせるよう支援します。

生活支援課

経済的な困りごと等を抱える方の
生活の安定と自立に向けて

生活の悩みや経済的な困りごとについて、一緒に考え整理しながら支援機関と連携し、生活の立て直しや困りごとの解決のお手伝いをします。

一人ひとりの生活が安定し、自立して暮らせるよう支援します。

地域福祉課

住民の参加により、地域での支え合いを広げます

認知症高齢者等が行方不明になられた際に地域ぐるみで早期発見につなげる取組や高齢者や障がいのある方、ひとり親世帯等の掃除や買い物等日常生活のちょっとした困りごとのお手伝いをします。サポートが必要な方が安心して生活できるよう、住民参加による支え合いの取組により支援します。

連絡先は8ページをご覧ください。



出雲市社協を支えてくださる皆様

出雲市社協の取組は、地域の皆様からお寄せいただく会費やご寄附、活動への協力・参加によって支えられています。皆様からのあたたかいお気持ちがあっはじめて、福祉のまちづくりをすすめることが可能となります。

本年度も引き続きご理解、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

会員と年会費について

一般会員（市内各世帯）	団体会員	賛助会員
1世帯 1,000円 ※町内会などで取りまとめをお願いしています。	1団体 10,000円	1口 1,000円

事情により町内会などに加入していらない方、団体会員・賛助会員にご協力いただける方はご連絡ください。

問合せ先／総務課 ☎23-3781 または各支所



福祉教育

子どもたちをはじめ地域の皆さんの福祉の学びを深める取組をしています。

会費は
様々な取組に使わせて
いただいています



遊び場整備への助成

子どもたちが安心・安全に遊べる環境づくりのために助成しています。



地域活動の支援

地域のふれあいサロンや見守り・声かけ活動等の支え合いを支援しています。



ボランティア講座

「地域で活動したい」想いにこたえる講座や研修会を開催しています。



フードバンク

お寄せいただいた食品等を生活にお困りの方へお渡ししています。



心配ごと、悩みごと相談の中止について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため
当面の間、一般相談は中止します。
仕事のこと、生活のことなどの困りごとについて、随時、職員が相談に応じます。

問合せ先／生活支援課 ☎23-3790

災害義援金のお知らせ

名 称	募 集 期 間
東日本大震災義援金 (最終送金累計額 49,207,349円)	受付終了
平成28年熊本地震災害義援金 (最終送金累計額 3,771,328円)	受付終了
平成29年7月5日からの大雨災害義援金 (最終送金累計額 759,954円)	受付終了
令和元年台風第19号災害義援金 (最終送金累計額 1,044,630円)	受付終了
平成30年7月豪雨災害義援金 (これまでの送金額 2,082,724円)	令和3年6月30日まで
令和2年7月豪雨災害義援金 (これまでの送金額 1,203,261円)	令和4年3月31日まで
令和3年2月福島県沖地震災害義援金 (これまでの送金額 6,794円)	令和3年5月31日まで
令和3年島根県松江市大規模火災義援金 (これまでの送金額 5,000円)	令和3年5月31日まで

あたたかいご支援
ありがとうございます。



日本赤十字キャラクター
ハートちゃん

問合せ先／日本赤十字社島根県支部出雲市地区 (事務局 出雲市社会福祉協議会 本所・各支所)

みんなの福祉掲示板 を使ってみませんか？

出雲市社協ホームページの「みんなの福祉掲示板」では、出雲市近辺の福祉活動を紹介しています。

「イベントの告知がしたい」「研修会の参加者を募集したい」「活動を知ってもらいたい」とお考えの方、ホームページ内にある応募フォームから簡単にご応募できます。

みんながつながる情報交換の場としてぜひご活用ください！



問合せ先／総務課企画係 ☎23-3781

オンライン 福祉相談を 行っています！

ご自宅からオンラインで対面相談ができます。

日々の暮らしでお困りのことなど、お話を聞かせてください。

詳しくはホームページをご覧ください。

※こちらの2次元コードからも読み取り
できます。



ご寄附 ありがとうございます

令和3年3月11日～令和3年5月10日受付分（敬称略）

*出雲市社会福祉協議会ではご寄附いただいた方のご意志を尊重し、氏名等を掲載しています。なお、金額は掲載しませんのでご了承ください。

一般寄附

<団体>

市営久村霊園管理組合
大社友の会
養護(盲)老人ホームかんなび
園自治会心灯会

見舞返し

<佐田>

大 呂 杉山 利夫

香典・玉串料・お花料等返し

() 内は故人

<出雲>

今市町 有元 美智子(来間仁一)
今市町 栗原 正治(ナツ子)
今市町 卜部 晃史(忠治)
今市町 吉田 進(茂)
笠取町 吾郷 恭子(猪一)
笠取町 勝部 直人(達雄)
大津町 森広 善次(森廣 榮子)
塩冶神前 嵐 和義(飯塚 義一郎)
古志町 伊藤 尚志(久子)
古志町 板倉 誠二(幸昌)
松寄下町 寺本 幸雅(尊充)
松寄下町 松尾 正一(一三)
松寄下町 藤井 淳(光)
下横町 椋 和香(米原 令子)
姫原町 錦織 廉(孝司)
姫原町 勝部 裕文(重義)
矢尾町 三成 重徳(幸枝)
中野町 昌子 真寛(美恵子)
武志町 伊藤 知嘉子(修康)
西林木町 花田 真宜(光弘)

上島町 曾田 康明(文男)
朝山町 米原 弘隆(正枝)
知井宮町 布野 伸一(一男)
神西沖町 立花 雄司(ハル)
東園町 郷原 博勝(理喜子)
西園町 藤江 幸代(武志)

<平田>

平田町 山根 哲生(栄)
平田町 多納 潤(正一)
平田町 井上 孝志(幸雄)
平田町 原 謙一(久枝)
平田町 川瀬 裕子(光男)
西平田町 北村 正男(貞子)
灘分町 西村 俊(スエ子)
灘分町 常松 立雄(悦代)
灘分町 秋国 勉(キエコ)
灘分町 浅野 雄司(定義)
灘分町 多々納 敏(國男)
灘分町 生馬 吉夫(政夫)
灘分町 新宮 正人(民子)
灘分町 三島 千恵子(敏次)
灘分町 多久和 香(キミ)
灘分町 榎野 俊徳(長藏)
島村町 長岡 美行(正)
西代町 大国 英樹(森脇 末子)
口宇賀町 黒崎 昇(正蔵)
本庄町 加納 和夫(公子)
万田町 阿部 宏有(八千代)
奥宇賀町 米江 広(幸子)
河下町 原 善久(幸男)
河下町 高橋 和敏(竹三郎)
河下町 金築 秀晃(喜美枝)
唐川町 荒木 修(近子)
東福町 岡 一彦(幸子)

東福町 奥 洋一(孝志)
東福町 福田 尚夫(一夫)
岡田町 長岡 武徳(正徳)
岡田町 長岡 正光(恵子)
鹿園寺町 曾田 盛雄(法子)
小境町 堀内 佑介(善久)
小境町 堀内 佑介(文則)
十六島町 梶野 秀明(敏夫)
十六島町 渡部 健次(時江)
三津町 池尻 剛(竹乃)

<佐田>

大 呂 藤原 永次(定義)
大 呂 杉山 勝利(利夫)
大 呂 佐貫 文紀(明良)
反 辺 石川 達也(理)
一窪田 山本 積(喜美子)
一窪田 青木 一平(健)
東 村 竹下 茂(善博)

<多伎>

口田儀 藤原 伸一(春美)
口田儀 森山 伸子(利夫)
多 岐 山本 和男(ミネ)
久 村 浅井 恵美子(三徳)

<湖陵>

三 部 伊藤 一雄(綾子)
大 池 石飛 恵子(昭恵)
大 池 園山 秀樹(波子)
差 海 桑原 利博(千枝子)

<大社>

中荒木 石田 治(敬)
北荒木 黒崎 竜也(重佳)

修理免 杉谷 佳宣(富久江)
杵築南 北井 真弓(ミサ子)
杵築西 発坂 至(登)
日御碕 石田 誠(守男)
宇 龍 小村 裕治(久夫)

<斐川>

荘 原 永瀬 敬治(正雄)
神 庭 石郡 一樹(好一)
神 庭 岡 均(ノブ子)
三 絡 石川 宗(捷子)
出 西 池田 幹夫(マサ子)
神 氷 嶋田 隆(昭)
併 川 新田 善行(行男)
鳥 井 三島 榮吉(一郎)
上直江 和田 俊之(順榮)
上直江 足立 政人(浪子)
直 江 三成 尚志(由美子)
直 江 小島 昌人(光郎)
直 江 嘉藤 直子(清)
直 江 佐々木 和彦(貢)
美 南 玉木 英朗(和子)
福 富 岡 敦子(正明)
福 富 安食 たる子(孝幸)
黒 目 古川 貴志(ツネ子)
坂 田 伊藤 徳悦(春雄)

匿名寄附

14件

ご寄贈

矢尾町 若槻 明子

皆さまからのご寄附は、市内で福祉活動を行う団体及び
各地区社会福祉協議会への助成などに使わせていただいております。

●出雲市社会福祉協議会に対する寄附は、住民税と所得税の控除対象になります。また、寄附者が法人の場合には、損金算入の制度が利用できます。

【例】出雲市にお住まいの方が本会へ50,000円の寄附をされた場合

※税額控除を選択した場合

〔1〕所得税 (50,000円 - 2,000円) × 40% = 19,200円

〔2〕住民税 (50,000円 - 2,000円) × 10% = 4,800円

〔1〕 + 〔2〕 = 24,000円 …… 税額控除額となります。

※一例であり、個々のケースにより控除額は変わります。詳しくは税務署等へお問い合わせください。

●「地区の社会福祉協議会へ寄附をしたが、市の社協だよりに掲載されていない」とのお問い合わせにつきまして、本会と各地区の社会福祉協議会は地域福祉の推進におけるパートナーであり連携して事業を行っておりますが、別の団体であることから、各地区社会福祉協議会に対する寄附はこの紙面に掲載しておりません。ご了承ください。



点訳奉仕員養成講座 受講者募集

視覚障がいのある方に本や広報紙を点字にして伝えるための知識と技術を学びます。

- **日時**
8月16日(月)から来年3月1日(火)まで(全21回)
原則毎週月曜日(祝日を除く) 10:00~12:00
(開講時に日程表を配付します。)
- **場所**
出雲市社会福祉センター
- **対象**
出雲市在住で、講座修了後は点訳グループに所属して点訳活動ができる人
- **定員**
10名(先着順)
- **受講料**
無料(ただし、テキスト代 1,540円程度が必要です。)
- **準備物**
ノートパソコン、USBメモリ
(点訳用ソフトウェアをインストールし、9月頃から使用します。)
- **申込方法**
①氏名 ②住所 ③電話番号 をご連絡ください。
- **申込締切**
7月30日(金)

パソコンの6つのキーを使って6つの点の組み合わせで文字を表す点字にします。
点字ならではの表記の仕方等を基礎から学びます。

問合せ・申込先/地域福祉課

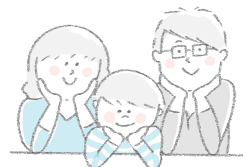
☎23-3781 FAX20-7733
メール fukushi@izumoshakyo.jp

※メールでの問合せ・申込の際は件名を「点訳奉仕員養成講座」としてください。

子どもの居場所 ボランティア講座

「子どもの居場所」をテーマに、活動の趣旨や事例について学びます。ぜひご参加ください。

- **内容**
〈基調講演〉NPO法人緑と水の連絡会議
副理事長 高橋賢史さん
(青少年の居場所「ほっとスペース ゆきみーる」室長)
〈実践発表〉てごほ〜む 他
- **日時**
8月9日(月・祝) 13:30~15:30
- **場所**
縁結び交流館(出雲市浜町520)
- **参加費**
無料
- **定員**
40名(先着順)
- **申込方法**
7月30日(金)までに ①氏名 ②電話番号 ③所属団体等 を下記までご連絡ください。



【子どもの支援活動の展示を募集します!】
子どもの支援活動を行う団体と出会い、つながることを目的に、活動紹介などの展示ブースを設けます。展示をご希望の場合はお問合せください。

※当日は、マスクの着用、手指消毒、体温測定にご協力ください。発熱・咳等の症状がある場合は受講をご遠慮ください。なお、新型コロナウイルス感染状況により講座を中止する場合があります。
※手話通訳等の配慮が必要な方は、申込時にご相談ください。

問合せ・申込先/地域福祉課

☎23-3781 FAX20-7733
メール fukushi@izumoshakyo.jp

※メールでの問合せ・申込の際は件名を「ボランティア講座」としてください。



出雲市社会福祉協議会連絡先

〈窓口対応〉平日8:30~17:15



本所/〒693-0001 出雲市今市町543 ☑ fukushi@izumoshakyo.jp ホームページ https://www.izumoshakyo.jp/
本所/☎23-3781 FAX20-7733 平田支所/☎63-4624 FAX63-5011 佐田支所/☎84-0131 FAX84-9034
多伎支所/☎86-2331 FAX86-2351 湖陵支所/☎43-2310 FAX43-2226 大社支所/☎53-3196 FAX53-6053
斐川支所/☎73-9330 FAX72-4068

いずも権利擁護センター ☎25-0955 FAX20-7733

生活支援課 ☎23-3790 FAX20-7733



高齢者あんしん支援センター

出雲/☎25-0707 FAX25-0901 平田/☎63-8200 FAX63-5011 佐田/☎84-0019 FAX84-9034
多伎/☎86-7122 FAX86-2351 湖陵/☎43-7611 FAX43-2226 大社/☎53-3232 FAX53-6053
斐川/☎73-9125 FAX72-4068

